

2012年9月期決算説明会

2012年11月12日



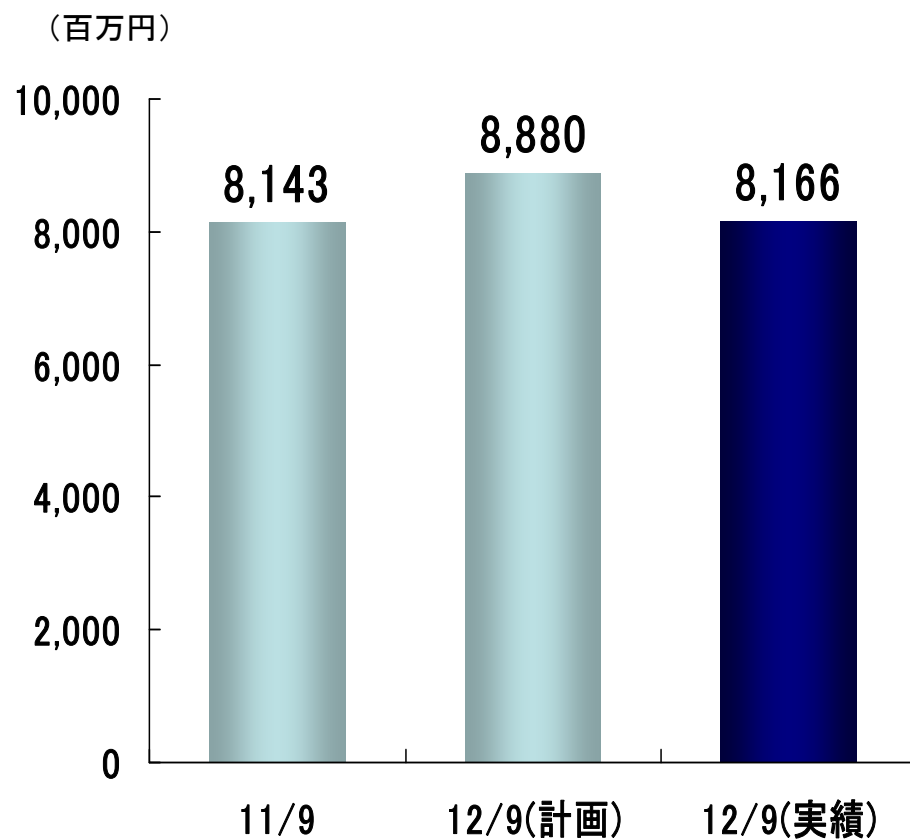
高千穂交易株式会社
TAKACHIHO KOHEKI CO.,LTD.

2012年9月期の決算概要

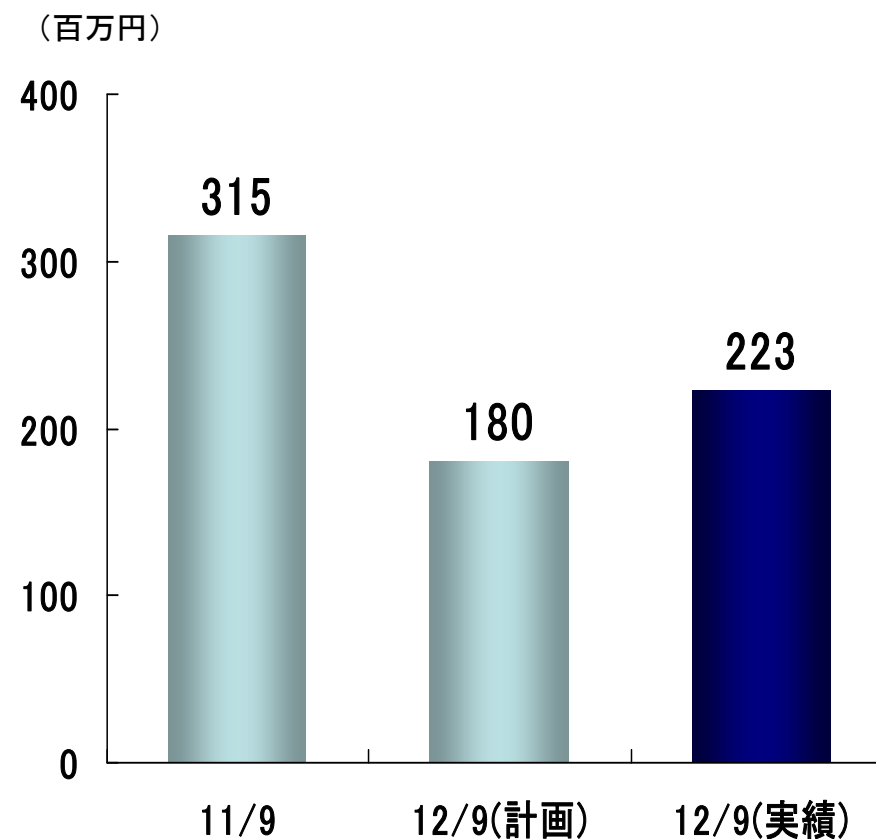
★ 2012年9月期 連結業績ハイライト

増収減益なるも、経常利益計画はクリア

売上高



経常利益



★ 2012年9月期 連結業績の詳細

売上減少を粗利益率でカバーし、営業・経常利益計画を達成

(百万円)	11/9	12/9		計画差	前期差	前期比 (%)
	実績	計画	実績			
売上高	8,143	8,880	8,166	△713	22	0.3
粗利益	2,224	2,440	2,358	△81	134	6.0
粗利益率(%)	27.3	27.5	28.9	1.4	1.6	—
販売費及び一般管理費	1,909	2,280	2,163	△116	254	13.3
販管费率(%)	23.4	25.7	26.5	0.8	3.1	—
営業利益	315	160	194	34	△120	△38.2
営業利益率(%)	3.9	1.8	2.4	0.6	△1.5	—
経常利益	315	180	223	43	△91	△29.1
経常利益率(%)	3.9	2.0	2.7	0.7	△1.2	—
当期純利益	63	60	42	△17	△20	△33.0
当期純利益率(%)	0.8	0.7	0.5	△0.2	△0.3	—
人 員	464	—	467	—	3	—

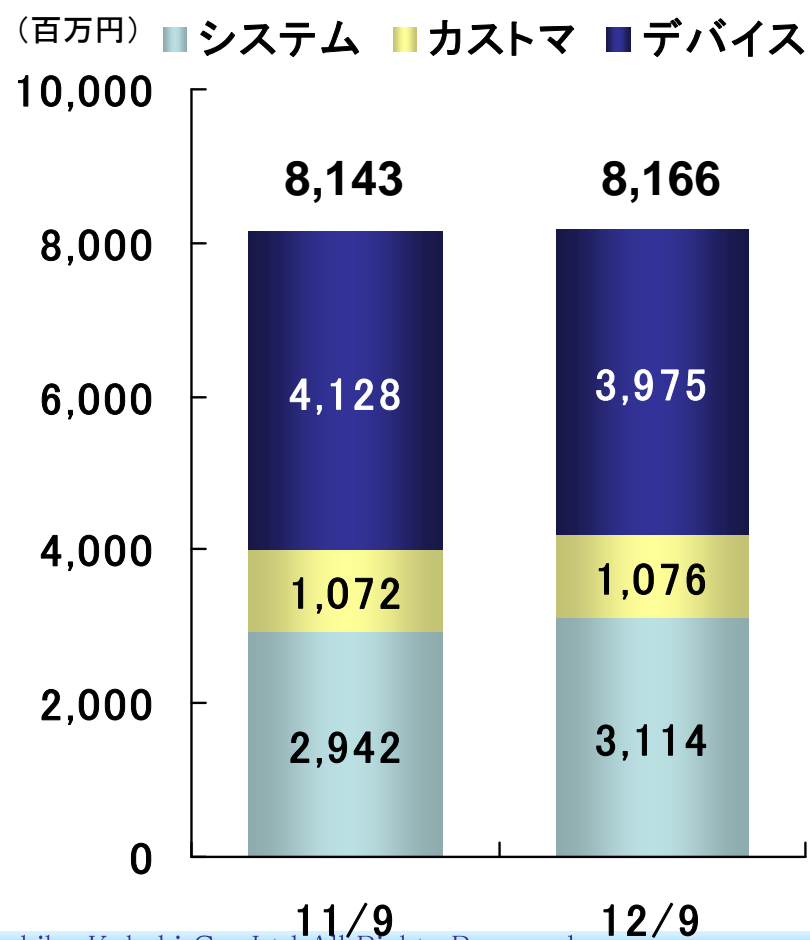
※一般販管費にのれん償却102百万円計上

※特別損失に投資有価証券評価損60百万円計上

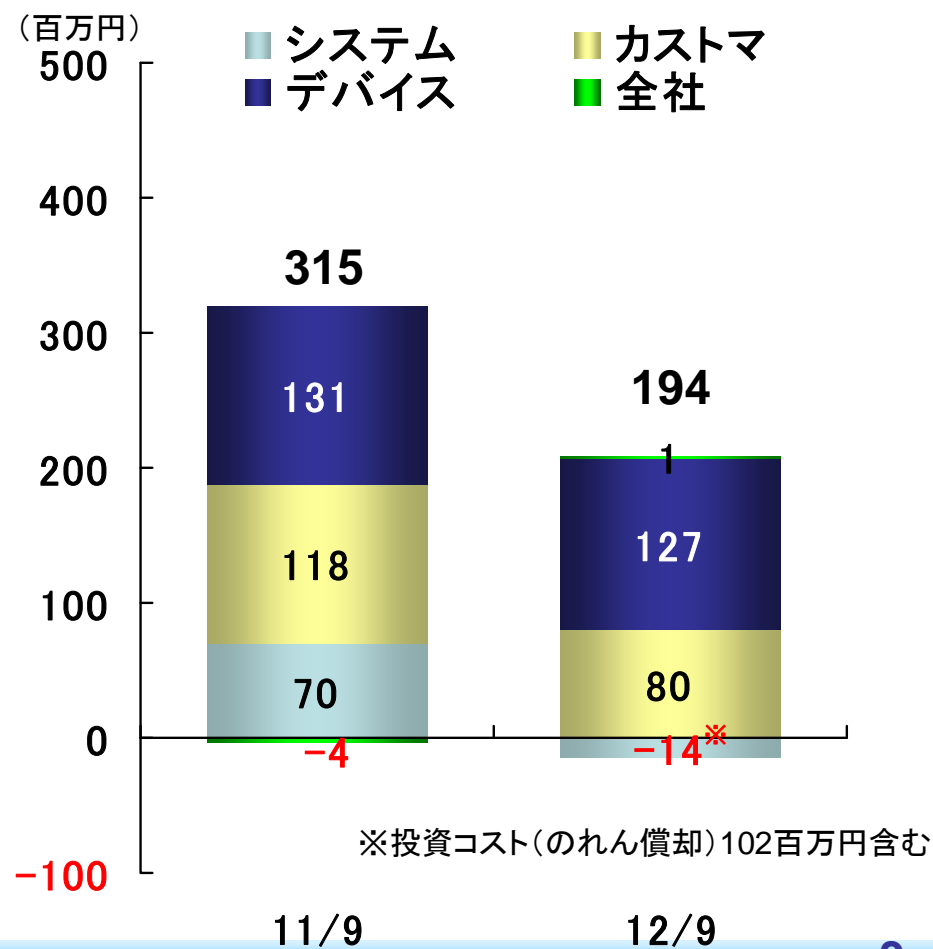
★ セグメント別業績のハイライト

システムは増収なるも、投資コスト負担により減益

売上高



営業利益



★ セグメント別業績のハイライト(資料)

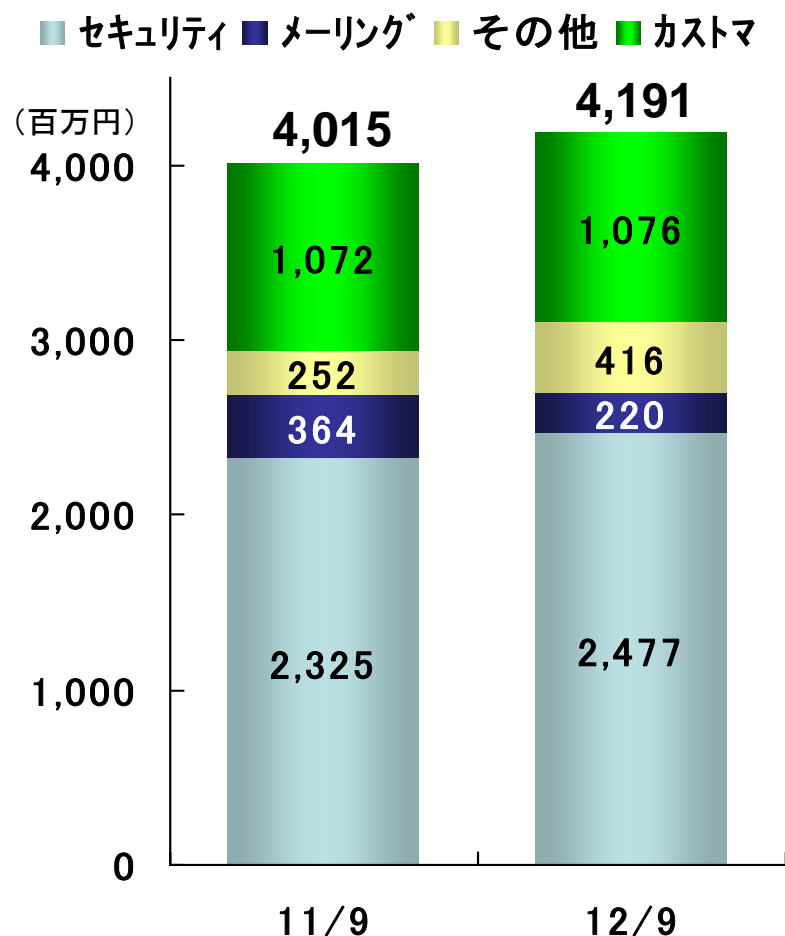
(百万円)

	11/9	12/9	前期差	前期比(%)	前期比 寄与度(%)
売上高	8,143	8,166	22	0.3	0.3
システム	2,942	3,114	171	5.8	2.1
構成比(%)	36.1	38.1	—	—	—
カスタマ・サービス	1,072	1,076	4	0.4	0.1
構成比(%)	13.2	13.2	—	—	—
デバイス	4,128	3,975	△153	△3.7	△1.9
構成比(%)	50.7	48.7	—	—	—
営業利益	315	194	△120	△38.2	△38.2
システム	70	△14	△84	△120.1	△26.7
カスタマ・サービス	118	80	△37	△32.0	△12.0
デバイス	131	127	△4	△3.3	△1.3
全社共通	△4	1	5	—	1.8

★ システム+カスタマ・サービスセグメントの業績

新連結子会社の貢献により前期比増収

売上高



定性情報

- ◆ セキュリティ商品類は、ファッション市場やホームセンター向け販売増加。
- ◆ また、タイの洪水復興需要・現地日系企業開拓により増収。
- ◆ その他商品類では、RFID大口案件獲得により増収。

営業利益

(百万円)

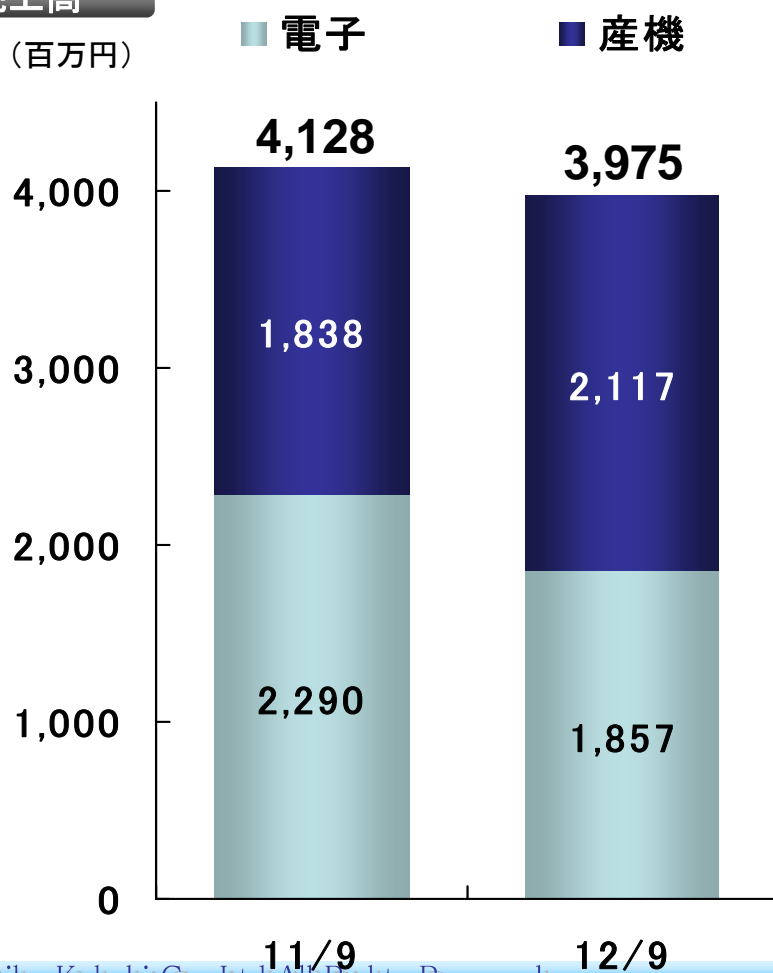
	11/9	12/9	前期比
システム	70	△14	△120.1%
カスタマ	118	80	△32.0%
合計	188	66	△64.7%

★ デバイスセグメントの業績

電子商品類が減収ながら産機商品類は大幅増収

売上高

(百万円)



定性情報

- ◆ 電子商品類では、ゲーム機市場で好調に推移するも、産業機器市場への拡販遅れにより減収。
- ◆ 産機商品類では、遊技市場向け販売が大幅続伸、及び中国ATM向け販売が堅調に推移し増収。

営業利益

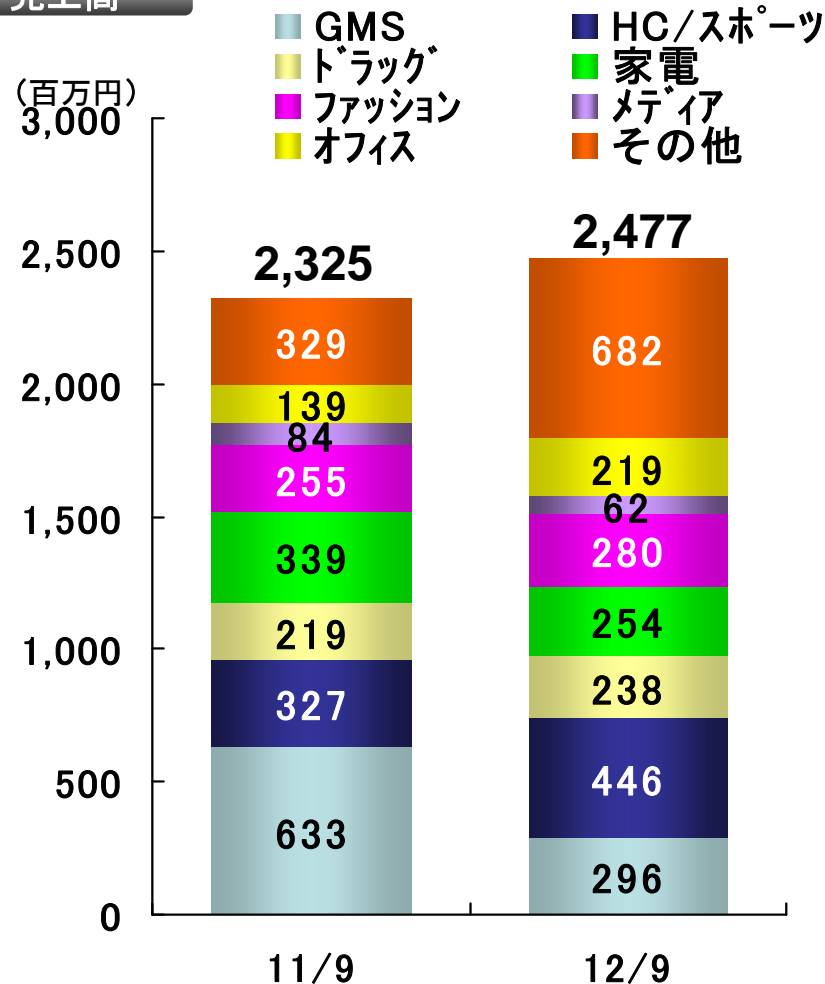
(百万円)

	11/9	12/9	前期比
デバイス	131	127	△3.3%

★ セキュリティプロダクトの業績

GMSの減収をその他市場でカバー

売上高



定性情報

- ◆ 前年に大口案件のあったGMS市場は減収。
- ◆ ファッション市場では、アパレルショップ向け増収。
- ◆ HC/スポーツ市場は、新規顧客開拓・新商品販売の進展によって増収。
- ◆ オフィス市場ではデータセンタの入退室管理システムが増収。
- ◆ その他市場では、タイ洪水復興需要等により増収。

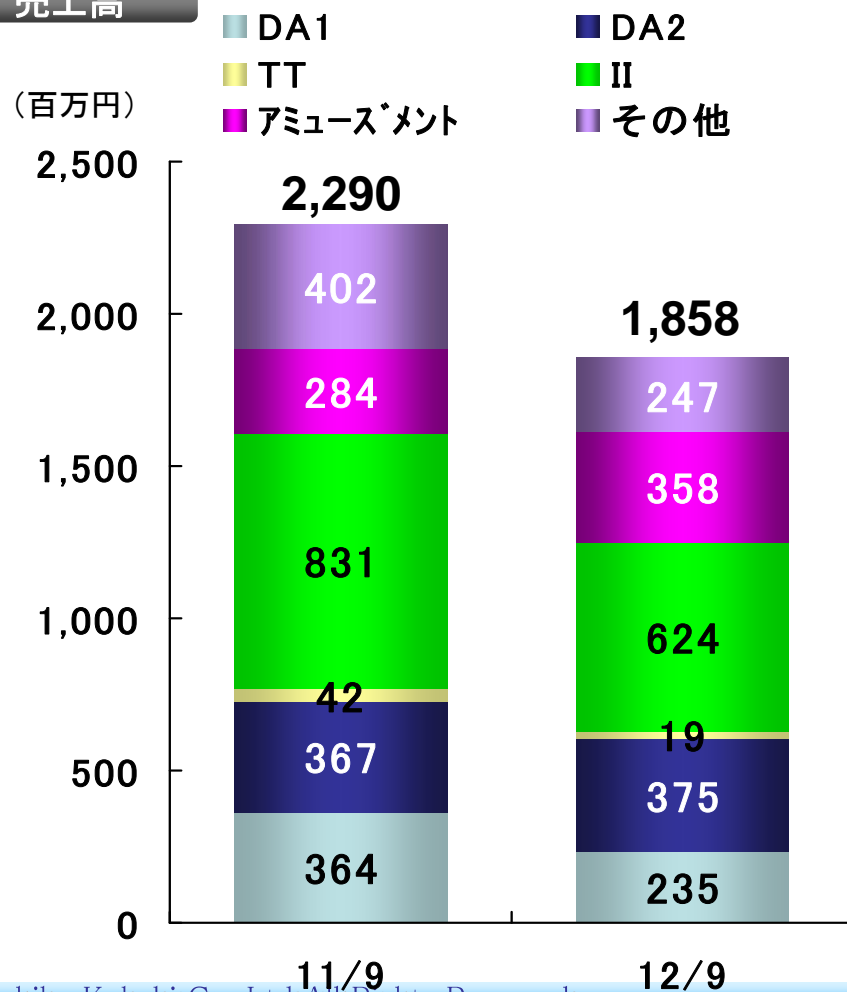


商品監視システム

★ 電子プロダクトの業績

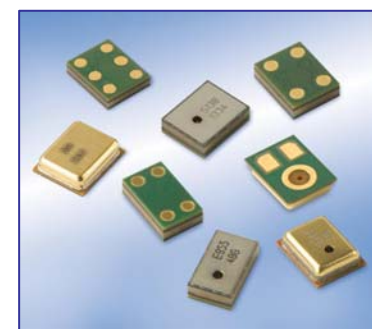
産業機器市場への拡販進まず大幅減収

売上高



定性情報

- ◆ II(産業機器市場)へのアナログ新商品の拡販進まず苦戦。
- ◆ アミューズメント市場ではゲーム機向けシリコンマイクが好調に推移。
- ◆ 国内電機業界の苦境の影響大。



シリコンマイク

★ 電子プロダクトのSBU区分(メモ)

市場区分

DA1: デジタルアプライアンス: モバイル系(携帯電話、デジタル・カメラ等)

DA2: デジタルアプライアンス(液晶テレビ、パソコン、プリンター等)

II : インダストリーインフラ(測定器、医療機器、放送設備、通信基地局等)

TT : テレマティックス(カーDVDナビゲーター等)

アミューズメント: アミューズメント設備、携帯ゲーム機等

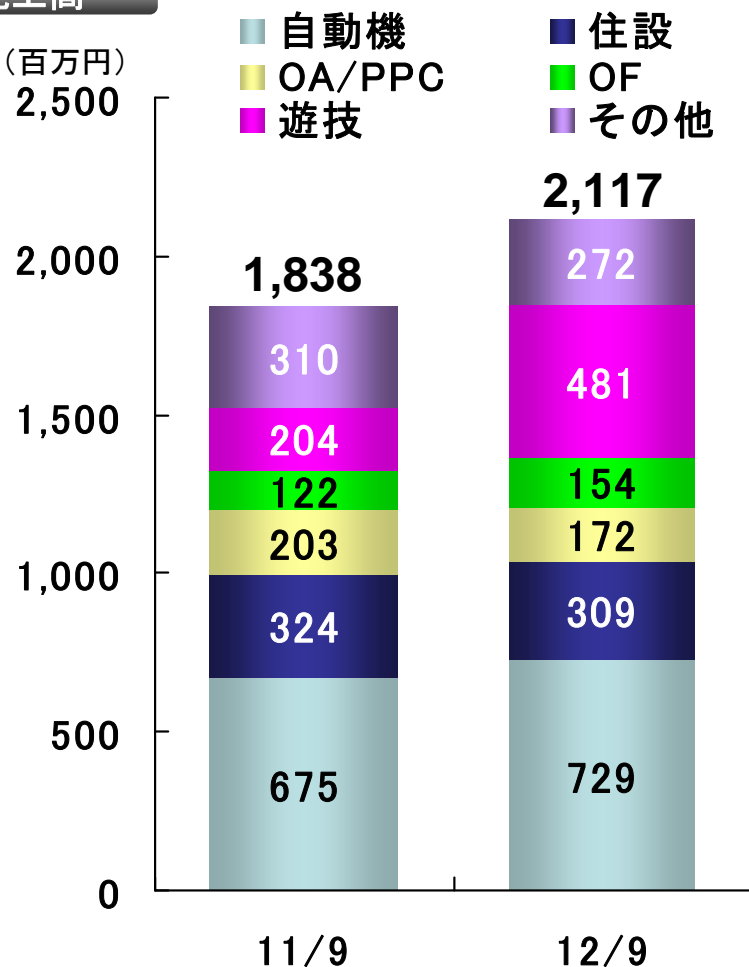
その他 : パワー(電源関係)、代理店販売等

★ 産機プロダクトの業績

自社開発商品及び新商材導入により大幅増収

売上高

(百万円)
2,500



定性情報

- ◆ 中国のATM向け販売が堅調に推移。
- ◆ スライドレールでシェアの高いATM市場へ新商材の電子錠をセット販売。
- ◆ 遊技市場で自社開発のマイクロレールの採用が進み、大幅増収。



マイクロレール



電子錠

★ 産機プロダクトのSBU区分(メモ)

市場区分

自動機: ATM(現金自動預け払い機)、券売機、釣銭機、自動販売機等

住設: 住宅設備、システムキッチン、福祉機器、引き戸、昇降棚等

OA・PPC: 複合機、コピー機、プリンター、印刷機等

OF(オフィス家具) : キャビネット、机、椅子等

遊技: パチンコ台間機、ゲーム機、アミューズメント設備等

その他: 上記以外で半導体製造装置、サーバーラック、鉄道ドア、ホームドア等

★ 貸借対照表の状況

総資産の減少により自己資本比率が3%アップ

(百万円)

	12/3	12/9	構成比(%)	増減
流動資産	15,458	14,809	85.0	△648
現金預金	6,492	6,619	38.0	126
受取手形及び売掛金	5,346	4,667	26.8	△679
商品及び製品	2,026	2,126	12.2	100
固定資産	2,831	2,614	15.0	△217
有形固定資産	499	495	2.8	△4
無形固定資産	1,170	1,038	6.0	△131
投資その他資産	1,160	1,079	6.2	△80
資産合計	18,290	17,424	100.0	△865
流動負債	3,894	3,222	18.5	△671
支払手形及び買掛金	2,563	2,206	12.7	△356
固定負債	894	822	4.7	△71
純資産	13,501	13,379	76.8	△122
負債純資産合計	18,290	17,424	100.0	△865

★ 連結キャッシュ・フロー計算書の状況

営業CFは前年から大幅減も黒字確保

(百万円)

	11/9	12/9	前期差
営業活動によるキャッシュフロー	1,416	143	△1,273
投資活動によるキャッシュフロー	△647	256	903
財務活動によるキャッシュフロー	△120	△168	△47
現金及び現金同等物の増減額	632	226	△405
現金及び現金同等物の期首残高	6,242	5,792	△450
現金及び現金同等物の期末残高	6,875	6,019	△855

★ 株主還元策について

安定的な配当を継続的に実施

	1株あたり 年間配当金	内中間配当	配当性向:連結
2007年3月期	28円00銭	14円00銭	31.7%
2008年3月期	28円00銭	14円00銭	116.8%
2009年3月期	28円00銭	14円00銭	160.5%
2010年3月期	24円00銭	12円00銭	163.0%
2011年3月期	24円00銭	12円00銭	57.9%
2012年3月期	29円00銭	12円00銭	84.1%
2013年3月期(予想)	24円00銭	12円00銭	(見込み) 55.9%

※2012年3月期の年間配当金には創立60周年記念配当5円を含みます。

通期の見通し

★ 2013年3月期 通期業績計画

通期業績見通しは、当初計画を維持

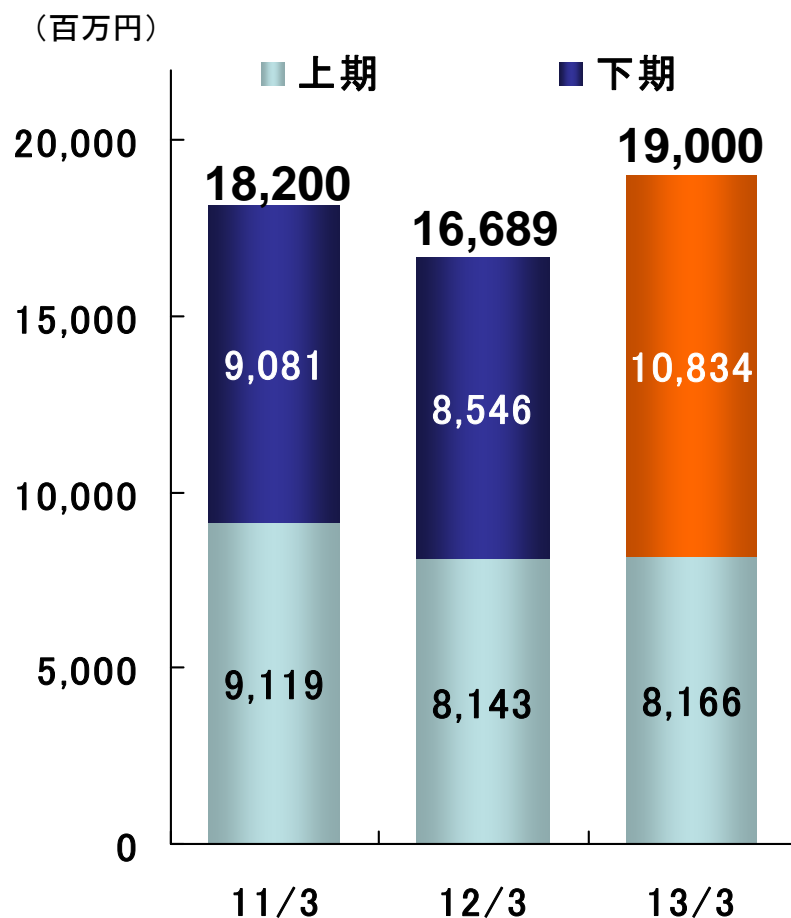
(百万円)

	12/3 実績	13/3 計画	前期差	前期比(%)
売上高	16,689	19,000	2,310	13.8
粗利益	4,635	5,340	704	15.2
粗利益率(%)	27.8	28.1	0.3	—
販売費及び一般管理費	3,877	4,520	642	16.6
販管费率(%)	23.2	23.8	0.6	—
営業利益	757	820	62	8.3
営業利益率(%)	4.5	4.3	△0.2	—
経常利益	827	840	12	1.6
経常利益率(%)	5.0	4.4	△0.5	—
当期純利益	344	420	75	21.9
当期純利益率(%)	2.1	2.2	0.1	—

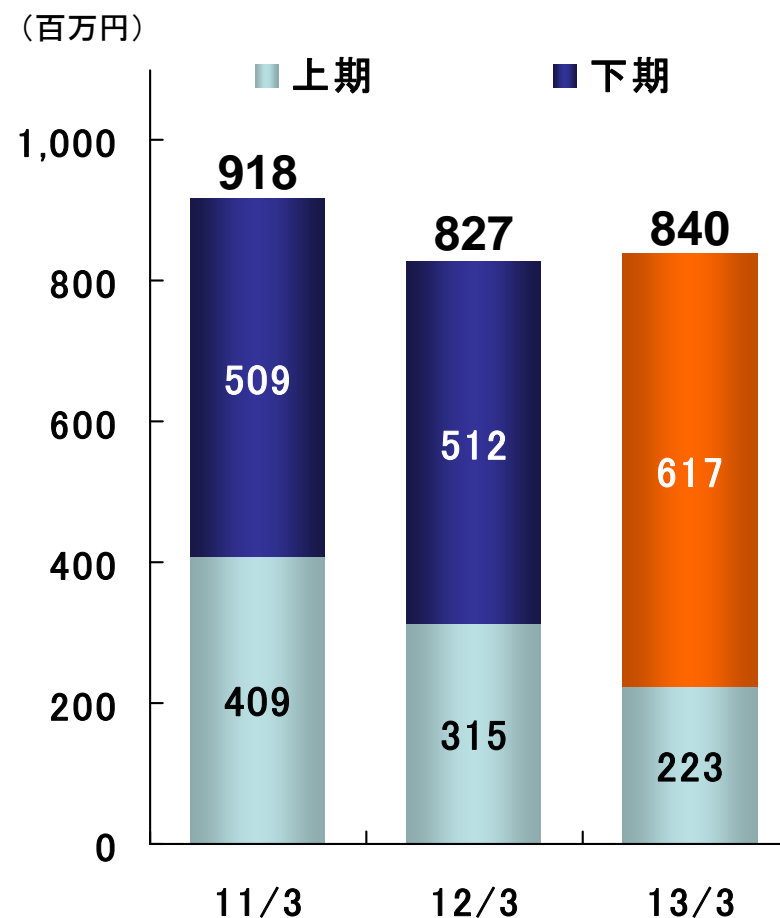
★ 下期の業績計画

下期は売上・利益共に今上期を上回る見通し

売上高



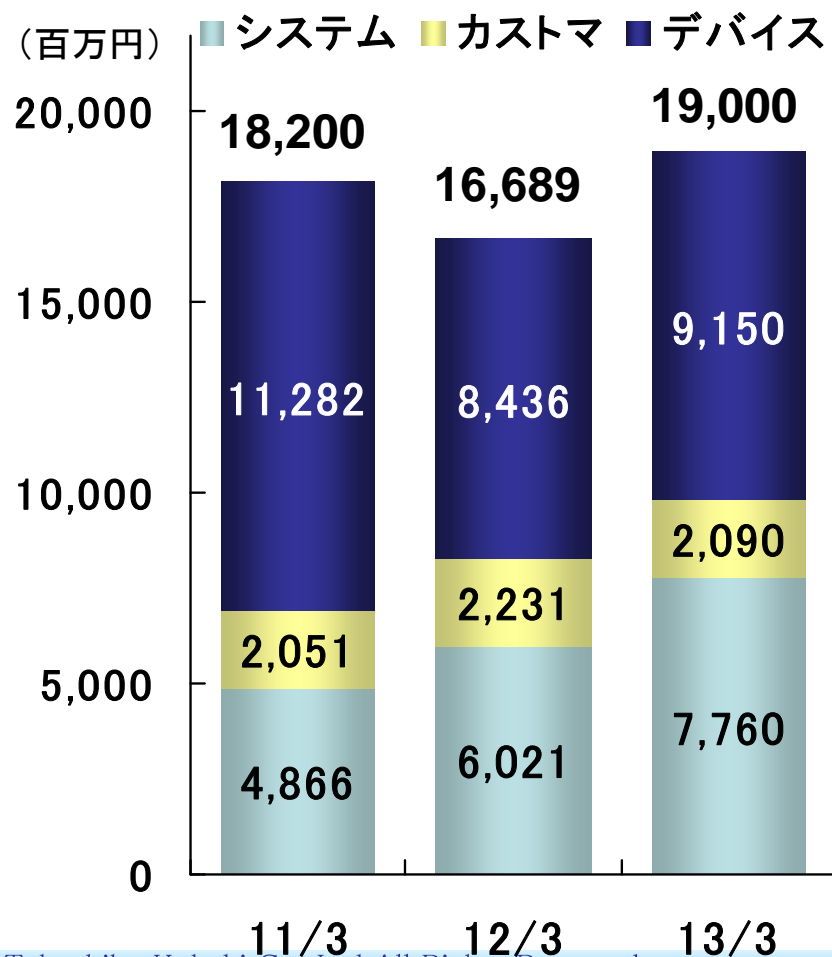
経常利益



★ 2013年3月期 セグメント別販売計画

システム・デバイスとも、前年実績を上回る計画

売上高



定性情報

- ◆ システムでは、既存顧客の維持拡大、アパレルを中心としたEAS未導入顧客への販売強化、新連結子会社の大口案件等により増収見込。
- ◆ デバイスでは電子・産機商品類とも上期からの施策実行を強化し増収を図る。

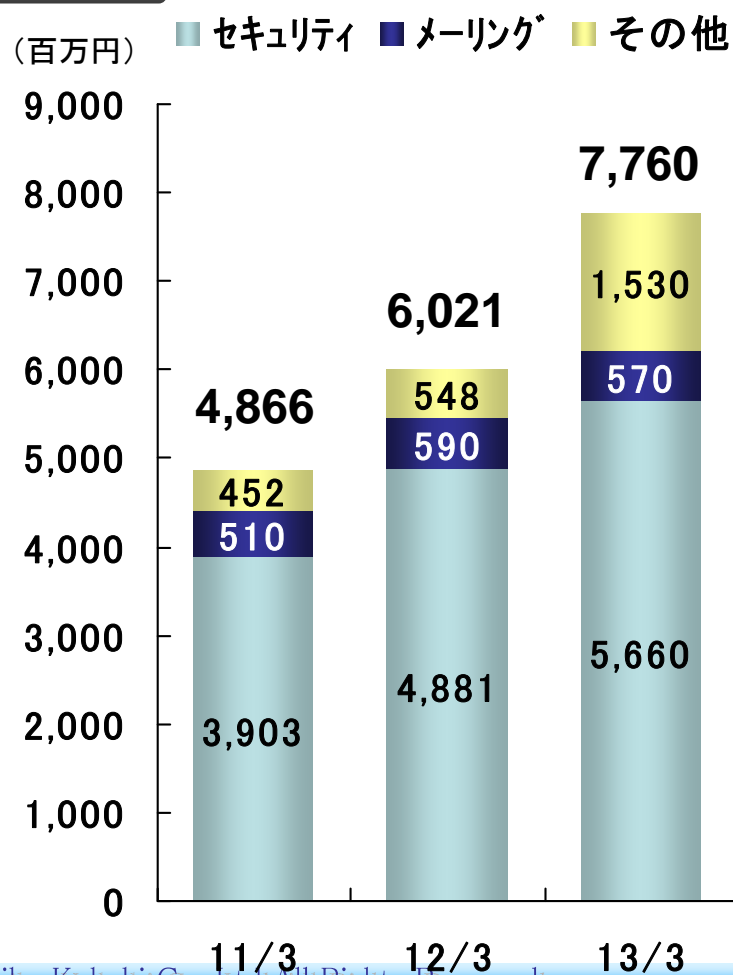
(百万円)

	12/3	13/3	前期比
売上高	16,689	19,000	2,310
営業利益	757	820	62
経常利益	827	840	12
当期純利益	344	420	75

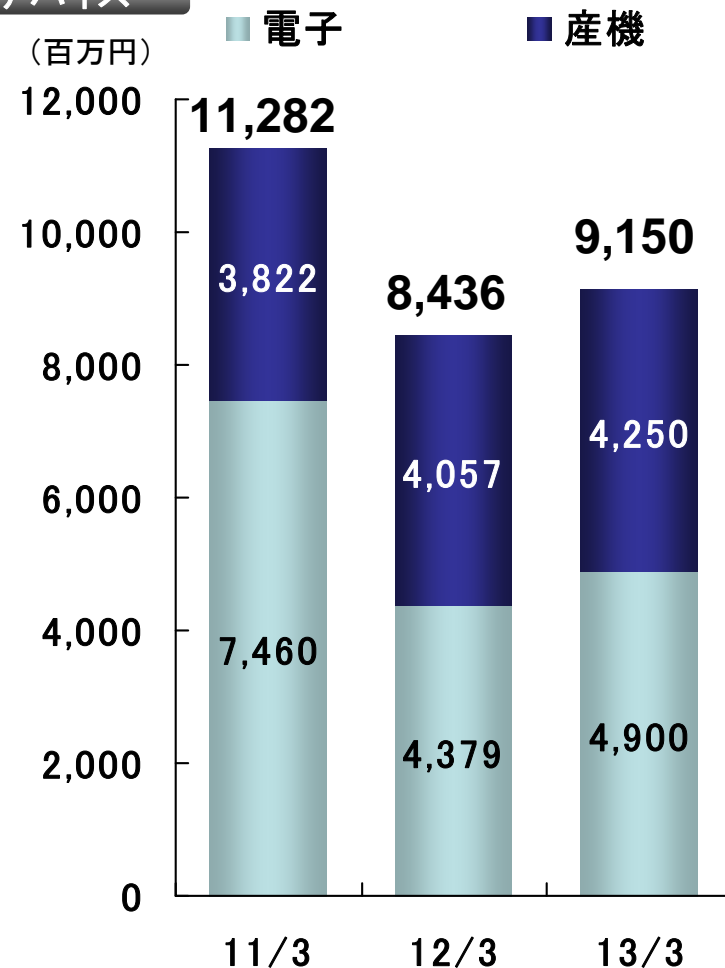
★ セグメント別販売計画の詳細

RFIDの大幅増収を含め、主要セグメントで増収計画

システム



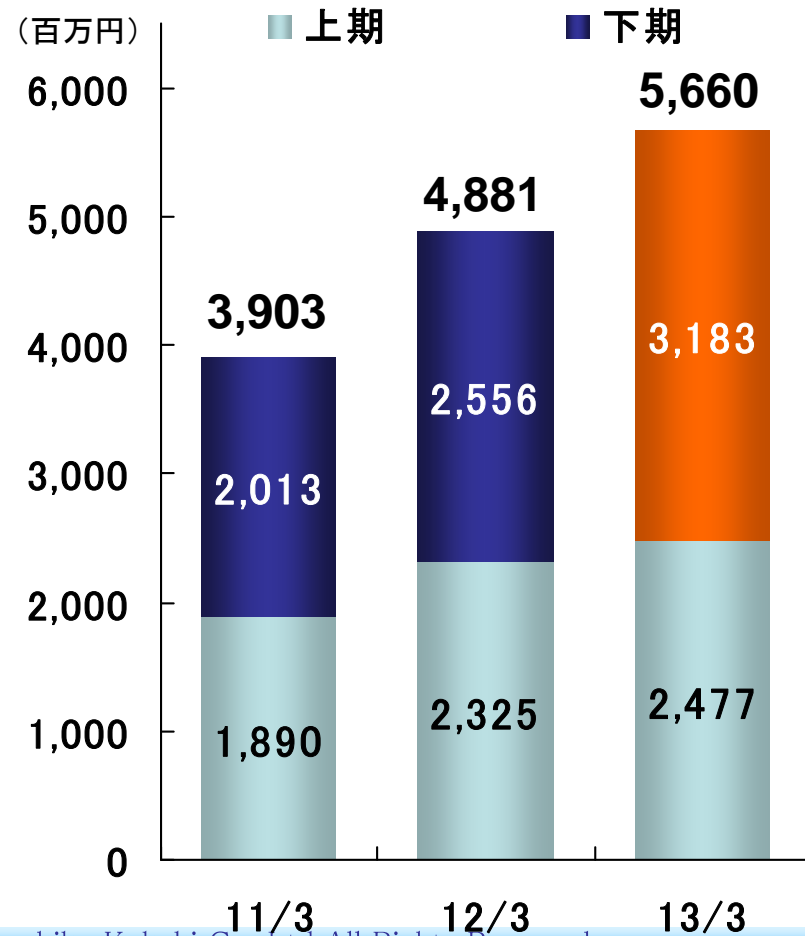
デバイス



★ セキュリティプロダクト販売計画

施策の確実な実行により、年間計画達成を目指す

売上高



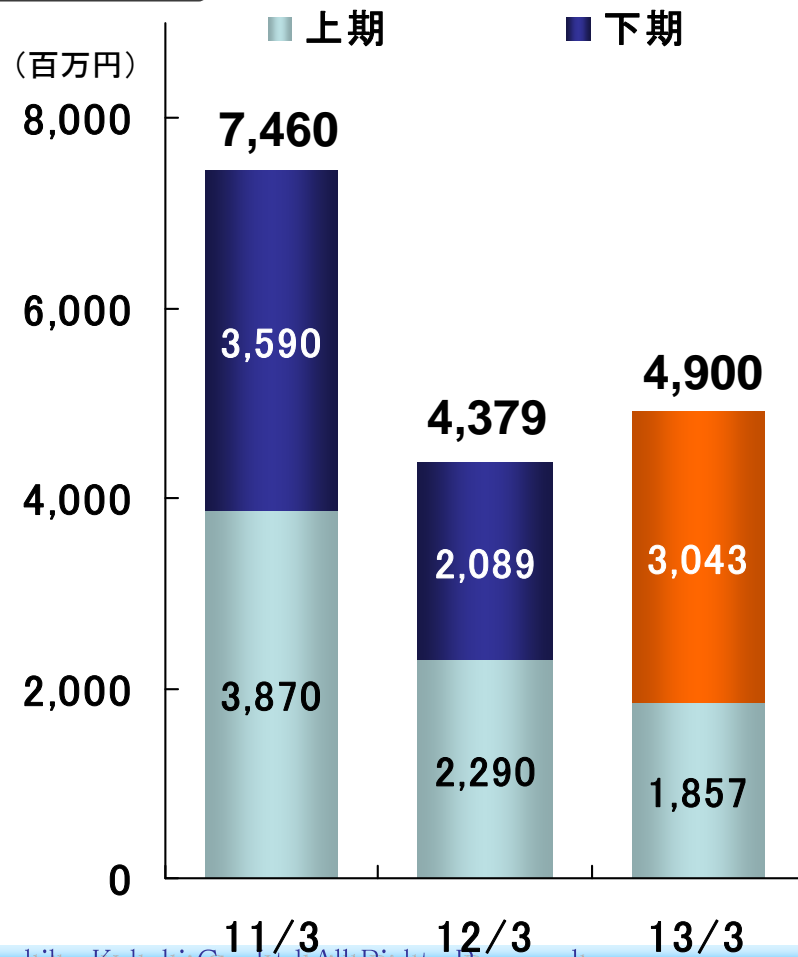
主な施策

- ◆ 国内EAS未導入店(アパレルショップ等)への販売拡大
- ◆ GMS市場への販売強化
- ◆ IPカメラ等の新製品の拡販
- ◆ タイ日系企業の開拓継続
- ◆ アジア(中国・東南アジア)市場でのEASビジネスの拡大

★ 電子プロダクトの販売計画

産業機器市場でアナログ半導体商品を中心に販売強化

売上高



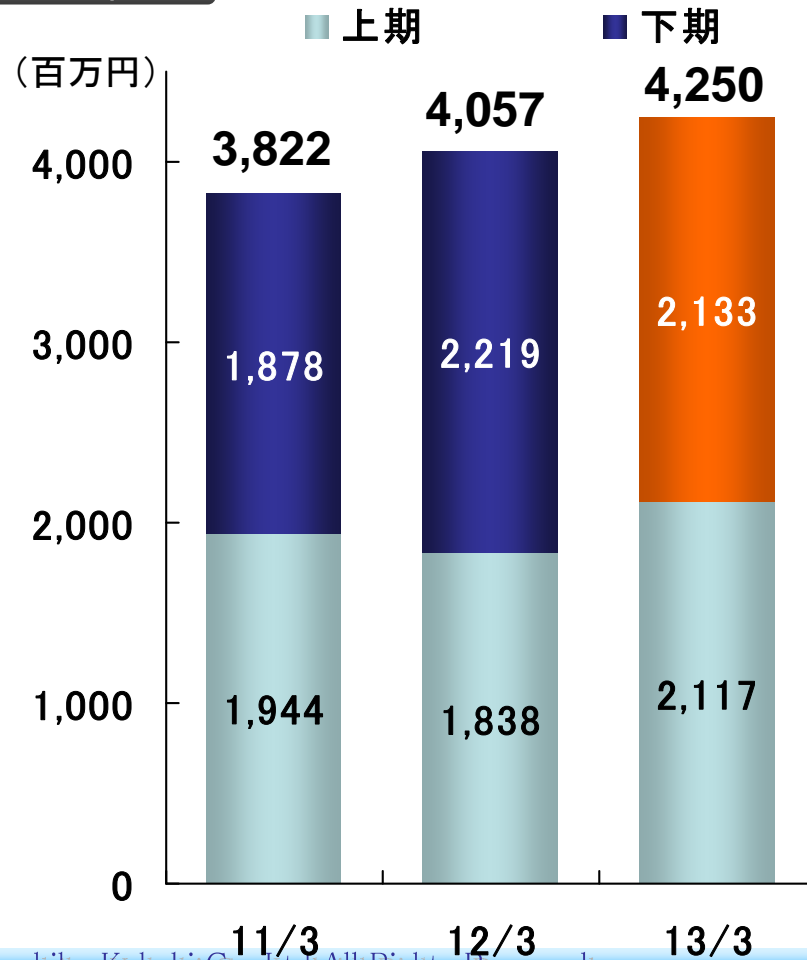
主な施策

- ◆ 重点攻略市場である産業機器市場への拡販
- ◆ アナログに加え、MEMS、通信用ICの実績拡大
- ◆ 海外開発へのシフトに伴い現地対応力を強化、及び海外移管ビジネスの確実な取り込み

★ 産機プロダクトの販売計画

新市場の開拓を積極的に推進

売上高



主な施策

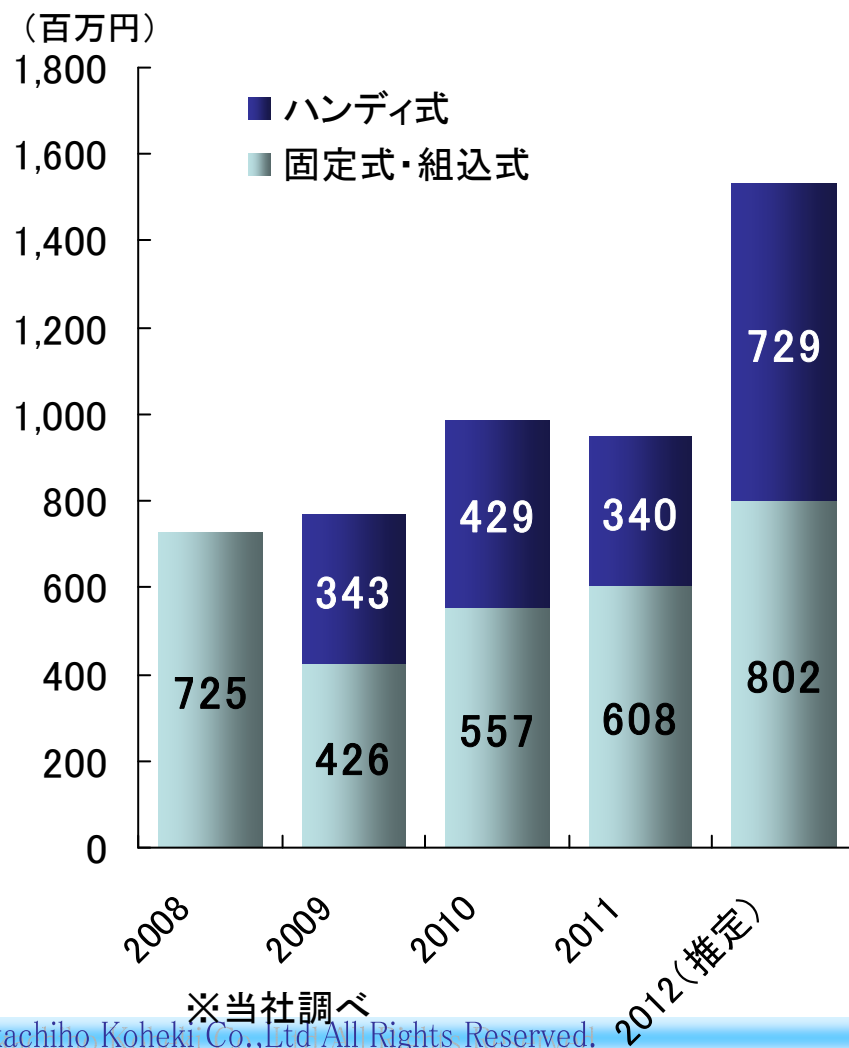
- ◆ 主力のATM市場でグローバル化推進(中国、欧米向け)
- ◆ 遊技向け大型案件の確実な取り込みと横展開を実施
- ◆ 鉄道関連市場等の成長市場へ販売を継続

トピックス

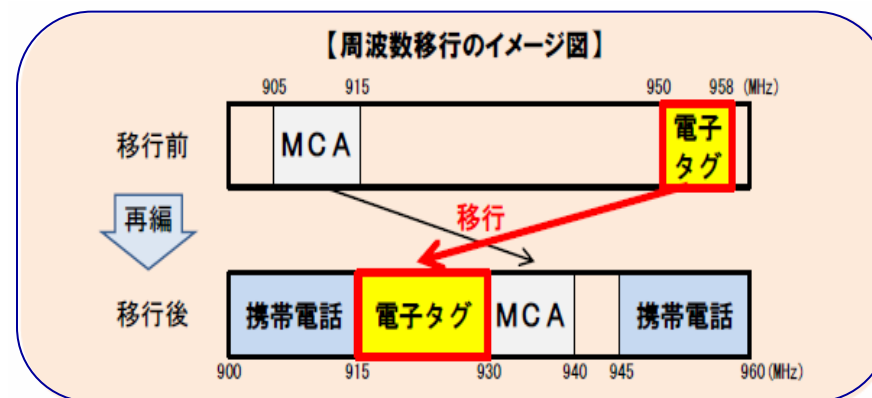
独自の付加価値の創造と
グローバルビジネスの本格展開の状況

★トピックス① ~RFID市場への本格参入~

UHF帯RFID機器の市場推移



- ◆ 周波数帯の国際的な標準化に伴う市場拡大
- ◆ 今後期待される用途
物流、在庫管理、履歴管理、物品管理等



※総務省資料より

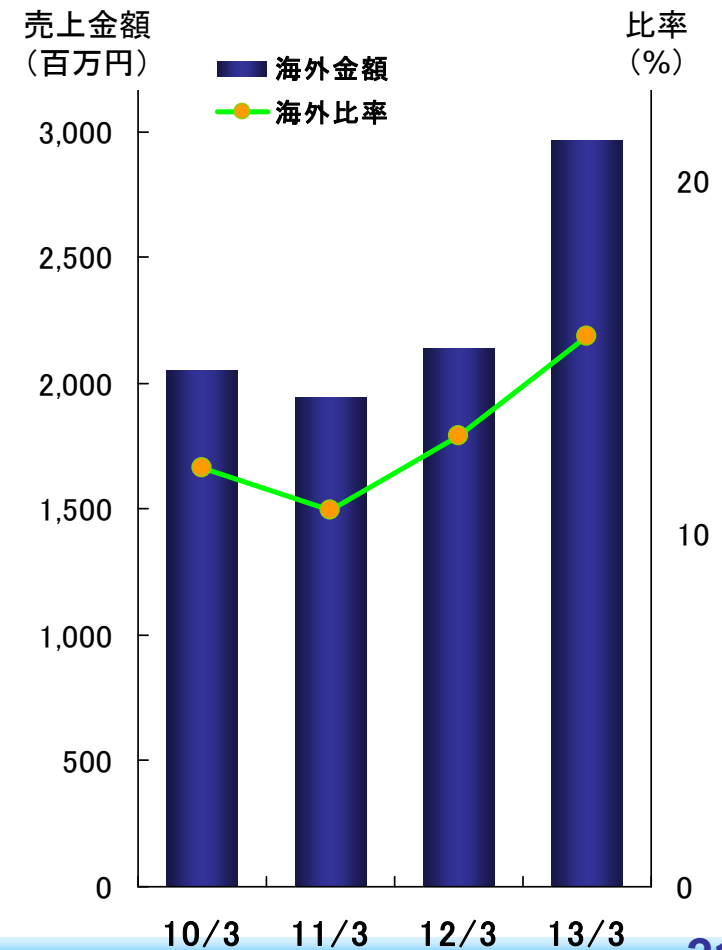
※MCA: 一定数の周波数を多数の利用者が共同で利用するMCA (multi-channel access radio system)方式を採用した業務用無線システム

★ トピックス② ~グローバルビジネス展開の状況~

グローバル展開を継続

- ① 中国・東南アジア地区でのセキュリティビジネスの展開
- ② 産機商材のアジア成長市場への販売強化
- ③ 電子商品類の移管ビジネスに加え、現地ビジネスの確立

海外売上推移



★ 中期事業方針

基本方針

独自の付加価値創出と グローバルビジネスの本格展開

- ① 新商品拡販と新市場開拓による事業拡大
- ② 専門性の追求により、電子事業のビジネス再構築
- ③ 海外ビジネス推進と新規事業の販売拡大

ありがとうございました。



当資料に掲載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値や施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。